

# 平成19年度 全国保健所長会研修会 開催要領

## メインテーマ：健康格差社会と保健所に求められるもの

### 1. 趣旨

昨今、日本においても「格差社会」という言葉が行政やマスコミ等でもよく用いられるようになってきている。格差社会は、大きく経済格差、教育格差、地域格差（都市と農村、中央と地方、離島僻地問題など）などに分類されているが、一方、これらの格差から起因する健康格差も表面化してきており、我々公衆衛生業務に關与するものにとって看過出来ない。

今回、全国保健所長会として、地域保健を担当する保健所長が生活習慣病、感染症、虐待、自殺、災害弱者等の課題について健康格差という視点で捉え、何故、このような健康格差が発生しているのかについて学ぶとともに、保健所の取り組み事例を通して、格差社会に目を向けた公衆衛生活動をどう展開していくかについて理解と認識を深めることを目的として開催する。

### 2. 開催日 平成20年1月31日(木)、2月1日(金)の2日間

1日目(1月31日): 13:00~18:10 18:30~意見交換会

2日目(2月1日): 9:00~15:00

### 3. 開催場所 京都市子育て支援センター「こどもみらい館」

京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町601番地の1

電話: (075)254-5001(代)

FAX: (075)212-9909

ホームページアドレス: <http://www.kodomomirai.or.jp/>

### 4. 対象 保健所長、または保健所に勤務する医師・歯科医師(約100人)

### 5. 概要(プログラム参照)

#### 1) 健康格差と保健所に求められるもの

「我が国における災害医療対策について」

厚生労働省医政局指導課補佐 佐々木孝治

「H - Crisisのシステム変更について」

国立保健医療科学院公衆衛生政策部長 曾根智史

「『健康格差社会』への処方箋 - ヨーロッパの総合的戦略に学ぶ」

日本福祉大学社会福祉学部教授 近藤克則

「健康格差研究は地域保健・公衆衛生施策にどのように貢献するか」

国立保健医療科学院疫学部疫学情報室長 福田吉治

「自殺のない『生き心地の良い社会』をめざして」

NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表 清水康之

パネルディスカッション(保健所事例報告)

#### 2) 新型インフルエンザ対策

「日本の新型インフルエンザ対策の現状と課題」

東北大学医学系研究科教授 押谷 仁

研究班報告

#### 3) 医療制度改革地域保健研修総括

研究班報告及び全国ブロック報告

グループワーク

### 6. 参加申し込み 全国保健所長会から別途ご案内予定。

平成19年度 全国保健所長会研修会 プログラム

「健康格差社会と保健所に求められるもの」

日時:平成20年1月31日(木)～2月1日(金)

会場:京都市子育て支援センター「こどもみらい館」

12:00		13:00		13:10		14:30		14:40		16:00		16:10		18:10		
1 月 31 日 (木)	受    付	開会挨拶  全国保健所長会  角野文彦会長	<b>災害弱者対策</b>				休    憩	<b>新型インフルエンザ対策</b>				休    憩	<b>医療制度改革地域保健研修総括</b>			
			講演 「我が国における災害医療 対策について」 厚生労働省医政局指導 課補佐 佐々木孝治	説明 「H - Crisisのシステム変更 について」 国立保健医療科学院公衆 衛生政策部長 曾根智史	講演 「日本の新型インフルエンザ対策の 現状と課題」 東北大学医学系研究科教授 押谷 仁	研究班報告 「保健所における新型インフルエンザ 対策のあり方研究事業」 広島県備北地域保健所長 岸本益実		研究班報告 「医療制度改革の推進に関する研究」 北海道岩見沢保健所長 廣田洋子	全国ブロック総括補佐報告 グループワーク コメンテーター 厚生労働省 角野会長 渋谷副会長							

9:00		11:20		11:30		12:10		13:10		14:55		15:00	
2 月 1 日 (金)	健康格差社会と保健所に求められるもの	講演1 「『健康格差社会』への処方箋 - ヨーロッパの総合的戦略に学ぶ」 日本福祉大学社会福祉学部教授 近藤克則	休    憩	講演3 「自殺のない『生き心地 の良い社会』をめざし て」  NPO法人自殺対策 支援センターライフリンク 代表 清水康之	昼    憩	パネルディスカッション 事例1「あいりん地域における結核対策の成果と 課題」 大阪市保健所感染症対策監 下内昭 事例2「母子保健を取り巻く健康格差」 京都市伏見保健所醍醐支所長 有本晃子 事例3「JR脱線事故に係る心のケアの取り組み」 兵庫県健康生活部健康局長 高岡道雄	閉会挨拶  全国保健所長会  渋谷副会長	講演2 「健康格差研究は地域保健・公衆衛生 施策にどのように貢献するか」 国立保健医療科学院疫学部 疫学情報室長 福田吉治	休    憩	コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部教授 近藤克則 (追加発言)秋田県自殺対策 新潟県災害弱者対策 東京都健康格差対策			